



いつまでも口から美味しく楽しく安全に食べるために 「健康長寿のまち」実現に向けた「歯と口腔の健康づくり」



「静岡県歯と口腔の健康づくり推進計画【令和3～8年度】」
中間評価・中間見直し(案)について、あなたのご意見をお寄せください

【期間】令和5年11月24日(金)から令和5年12月25日(月)まで(必着)

○閲覧場所 下記の場所で計画案をご覧いただけます。

- ・静岡県役所 健康づくり推進課(静岡県役所 静岡庁舎 新館12階)
- ・静岡県役所 健康づくり推進課 口腔保健支援センター(城東保健福祉エリア 保健所棟 1階)
- ・各区の市政情報コーナー・市ホームページ

○ご意見の提出方法 期間内に、次のいずれかの方法でご提出ください。

- ・郵送 ・FAX ・持参 ・電子申請:市ホームページの応募専用フォーム →

計画本書もこちら



○問合せ先

〒420-0846 静岡県葵区城東町24-1
静岡県 保健福祉長寿局 健康福祉部 健康づくり推進課 口腔保健支援センター
TEL:054-249-3175 / FAX:054-209-1063

https://www.city.shizuoka.lg.jp/695_000230.html

計画の概要

基本理念 「健康長寿のまち」実現に向けた「歯と口腔の健康づくり」

根拠
静岡県歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例 第11条

スローガン いつでも だれでも どんなときも 歯と口腔の健康づくりに取り組み
美味しく 楽しく 安全に 口から食べることができるまち しずおか



- 基本方針**
- (1) 乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組 **いつでも(年齢問わず)**
 - (2) 障がい児・者、要介護者、妊産婦など特別な配慮が必要な人に対する取組 **だれでも(障がい等があっても)**
 - (3) 災害時における健康被害の予防及び歯科保健医療提供体制の整備 **どんなときも(災害時でも)**
 - (4) 持続可能な歯と口腔の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化
 - (5) 科学的根拠に基づいた歯科保健施策の展開
- 基本方針1~3の取組を4,5で支えます

中間評価・中間見直しの趣旨

令和8年度が終期となる本計画は3年目の中間年を迎えました。

これまでの取組や進捗状況を確認する中間評価を行うことで、より社会情勢に即した内容へ見直しを行います。

中間評価の基準

評価	基準
達成	すでに最終目標値を達成している(最終目標値が数値の指標のみ)
改善	改善傾向にある(ベースライン値と比べ+3%以上)
維持	変わらない(ベースライン値と比べ±3%未満)
悪化	計画策定時の目標値と比べ悪化した(ベースライン値と比べ-3%以下)

中間評価の結果

(1) 全体の評価

	達成	改善	維持	悪化	計	評価外
項目数	10	28	7	7	52	12
割合	19.2%	53.8%	13.5%	13.5%	100%	—

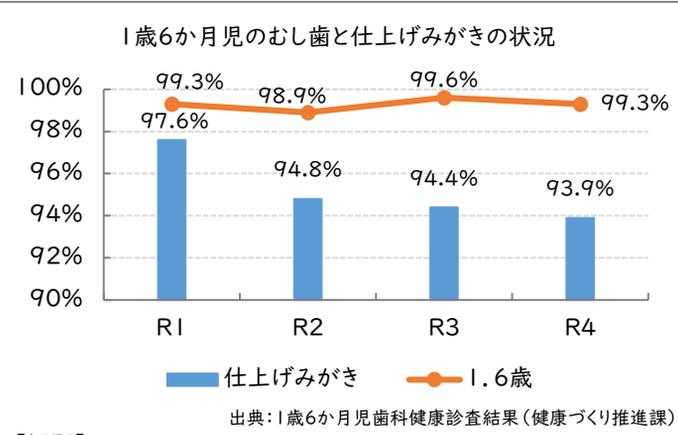
改善割合(達成+改善/項目数)	73.0%
-----------------	-------

(2) 悪化の指標一覧

※最終目標値が「増加」「減少」の指標は見直しをし、数値で設定します(4ページに記載あり)

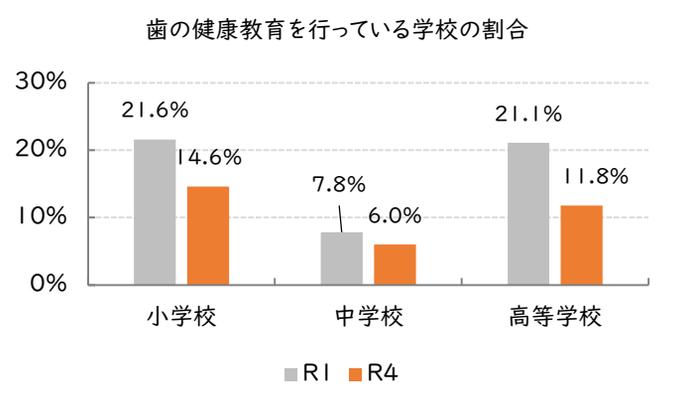
指標名	ベースライン値(R1)	中間実績値(R4)	最終目標値
保護者が仕上げみがきをしている1歳6か月児の割合	97.6%	93.9%	100%
歯科専門職による歯の健康教育を行っている小学校数	19/88校 21.6%	12/82校 14.6%	全校
むし歯処置未了者(中学1年生)の割合	41.7%	48.4%	減少
歯科専門職による歯の健康教育を行っている中学校数	4/51校 7.8%	3/50校 6.0%	増加
歯科専門職による歯の健康教育を行っている高等学校数	4/19校 21.1%	2/17校 11.8%	増加
何でも噛んで食べることができる男性50~54歳の割合	84.2%	81.1%	85.3%
障害福祉サービス等事業所でかかりつけ歯科医を持つ者の割合	66.3%	63.2%	増加

中間評価の結果から見た課題と対応策①



【課題】
むし歯のない1歳6か月児の割合は90%台を維持していますが、仕上げみがきの割合は年々悪化しています。新型コロナウイルス感染症の影響で、集合型の9か月児歯の教室の一時中断や仕上げみがきの実践を取りやめたことが原因と考えられます。

目指す姿	対応策	アウトカム(R7)
<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防の方法を正しく理解する ・仕上げみがきを保護者が実践する ・間食の摂り方を意識する ・フッ化物歯磨剤を利用する ・家族みんなでかかりつけ歯科医を持つよう意識する 	<p>【新規事業】 1歳頃のおし歯予防事業</p> <p>歯と口に関する正しい知識を普及し、乳歯のおし歯予防の行動変容を促すこと等を目的に8か月~1歳2か月頃の親子を対象に教室を実施します。また、動画(オンデマンド型)による情報発信を行います。</p> <p>Babyちゃんの歯のはなし vol.1 vol.2</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯のない1歳6か月児の割合 100% ・保護者が毎日仕上げみがきをしている子どもの割合 100%

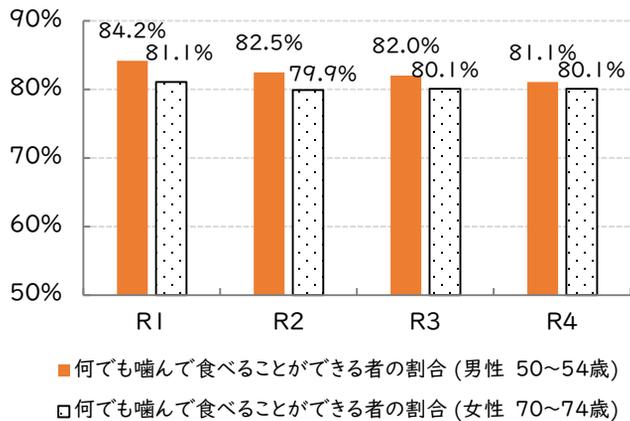


【課題】
歯科専門職による歯の健康教育を行っている小・中・高等学校はいずれも減少(悪化)しています。新型コロナウイルス感染症の影響で学校に外部講師を招くことが困難であったことが原因と考えられます。

目指す姿	対応策	アウトカム(R7)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校(養護教諭等)と学校歯科医の連携体制が取れている状態 <p>(具体例) むし歯や歯肉炎のメカニズムを児童・生徒、保護者、学校関係者が理解し、予防に向けた取組を実践できている</p>	<p>【新規事業】 学童期・思春期の歯科口腔保健支援事業</p> <p>小中高校生の歯科口腔保健の推進を図るために児童や生徒に関わる職種(学校歯科医、養護教諭、保護者等)を対象に研修会を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科専門職による歯の健康教育を行っている校数 小学校:全校 中学校:増加 高等学校:増加 ・歯肉に所見のある者の割合の減少 ・むし歯処置未了者の割合の減少

中間評価の結果から見た課題と対応策②

何でも噛んで食べることができる者の割合



出典:特定健康診査結果(健康づくり推進課)

【課題】

何でも噛んで食べることができる者の割合が特に男性50～54歳が悪化しています。

歯を残すだけでなく、安全に美味しく楽しく食事ができるように口の機能を維持する大切さの周知啓発が必要です。

目指す姿

・歯を失う原因であるむし歯や歯周病がどのような病気であるかを理解し、予防に向けた取組を実践する

・歯や口の機能の衰え(オーラルフレイル)について理解し、予防に向けた取組を実践する

対応策

【新規事業】 歯科健診受診勧奨

KDB(国保データベース)を活用し、特定健康診査の問診票で「噛めない」と回答しているものの、歯科医院を受診されていない者に対し、歯科健診の受診勧奨を行います。

【継続事業】 オーラルフレイル 普及啓発事業

40歳以上を対象に実施したオーラルフレイルアンケート調査結果から啓発リーフレットを作成し、市内に本拠地を置く保険者等に配布します。また、介護職等を対象とした研修会を実施し、後日オンデマンド配信を行います。

アウトカム(R7)

・何でも噛んで食べることができる者の割合

男性50～54歳
85.3%

女性70～74歳
83.3%

・オーラルフレイルを知っている者の割合

11.5%(R1)
▶25.0%

・「歯っぴー☆スマイル体操」を知っている40歳以上の割合

37.9%(R1)
▶増加

その他 検証の結果 見えた課題への対応策

基本方針2 障がい児・者、要介護者、妊産婦など特別な配慮が必要な人に対する取組

(1)障がい児・者・・・障害者歯科保健センターについて



出典:障害者歯科保健センター調査

【課題】

・「静岡市障害者歯科保健センター」(平成17年開設)の年間患者数は延べ約3,250人で、実患者数は年々増加傾向にあります。

・センター患者数の増加により、予約が取りづらく、診療・治療を受けるまでの期間が長期化しています。

・特に、初診の方^{※1}や、全身麻酔下での処置を必要とする方^{※2}については、適切な時期に歯科治療等を行うことが望ましく、優先的な対応が必要です。

目指す姿

・障がいのある人が適切な時期に適切で安心・安全な歯科医療を受けられる状態

・関係機関と連携し、住み慣れた地域でかかりつけ歯科医を持ち、継続的な口腔内管理が受けられる環境が整っている状態

対応策

・予約(初診、再診)がスムーズに取れるよう、初診患者については令和5年度から「初診日」を設定し、初診患者の待ち時間を減らすよう努めています。

・全身麻酔下歯科治療については、これまで共同して診療を行ってきた市立病院との連携を一層強化するとともに、他病院との協力体制の新規構築に向けた協議等を行い、実施機会の増加に向け、取り組んでいきます。

アウトカム(R7)

・【新規追加】
障害者歯科保健センターの初診予約平均待ち日数

ベースライン値
36日(R4)
▶減少

・【新規追加】
障がい児・者の全身麻酔下歯科治療平均待ち日数

ベースライン値
181日(R4)
▶減少

※1:センターとして口腔内の状況等を把握できておらず、患者によっては早期の治療が必要となる場合があり、優先的な診療が必要です。

※2:障がいの特性(急な体動等)や口腔内の状況等によっては、全身麻酔下での治療が必要な場合があり、優先的な診療が必要です。

見直しの結果 最終目標値の再設定を行う指標

指標名	調査対象	調査名	ベースライン値 (年度)	中間実績値	【旧】 最終 目標値	【新】 最終 目標値
むし歯のない 子どもの割合	5歳児 (乳歯)	静岡県5歳児 歯科調査	70.6% (R1)	77.9% (R4)	77.7%	84.3%
むし歯のない 子どもの割合	中学1年生	学校歯科 保健調査	83.0% (R1)	87.4% (R4)	85.0%	88.9%
デンタルフロス など歯と歯の 間を清掃する ための器具を 使っている者 の割合	40歳以上	歯周病検診 結果	60.8% (R1)	72.1% (R4)	65.8%	81.0%
6024達成者 の割合 ※	55~64歳	歯周病検診 結果	81.9% (R1)	93.8% (R4)	82.6%	93.8%
妊婦歯科健診 受診率	妊婦	妊婦歯科健 康診査(毎 年)	46.2% (R1)	51.2% (R4)	50.0%	51.2%

最終目標値を
（現状より良くすることを目標）
最終目標値を
（現状を維持することを目標）
最終目標値と同値に修正

※60歳で24本以上残っている者の割合。おとなの歯（永久歯）は“親しらず”をのぞくと28本のため、60歳の時点で24本以上残っていると比較的なんでも噛んで食べられるといわれています。

見直しの結果 最終目標値を数値で設定する指標（悪化の7指標のうち、最終目標値を「増加」「減少」としていた指標）

指標名	調査対象	調査名 (調査頻度)	ベースライン 値(年度)	中間 実績値	【旧】 最終 目標値	【新】 最終 目標値
むし歯処置未完了者の割合	中学1年生	学校歯科 保健調査 (毎年)	41.7% (R1)	48.4% (R4)	減少	40.6%
歯科専門職による歯の健康 教育を行っている校数	中学校		4/51校 7.8% (R1)	3/50校 6.0% (R4)	増加	10校 20.0%
	高等学校		4/19校 21.1% (R1)	2/17校 11.8% (R4)	増加	5校 29.4%
障害福祉サービス等事業所 でかかりつけ歯科医を持つ者 の割合	障害福祉サ ービス等事業所 利用者	障害者歯科 保健センター アンケート (毎年)	66.3% (R1)	63.2% (R4)	増加	70.2%

見直しの結果 新たに追加する指標

指標名	調査対象	調査名	ベースライン値 (年度)	最終 目標値
障害者歯科保健センターの初診予約 平均待ち日数	障がい児・者	障害者歯科保健センター 調査	36日 (R4)	減少
障がい児・者の全身麻酔下歯科治療 平均待機日数	障がい児・者	障害者歯科保健センター 調査	181日 (R4)	減少